※令和４年度以降入学生用

学校番号	1207

令和５年度　学チャレンジタイム科

教科	学チャレンジタイム	科目	（学）福祉基礎講座	単位数	１単位	年次	２・３年次
使用教科書	社会福祉基礎（中央法規）						
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

福祉・介護についての実習と講義を 36 時間設定する。
実習をおこなうことにより、より理解を深めてほしい。

２　学習の到達目標

福祉・介護について総合的な知識・技能を養いたい。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	福祉・介護に関する知識が身についているか。	実習などの体験授業を現場のルール等にしたがい取り組めているか。 学んだことを自分なりに表現できているか。	実習や事前学習にしっかり参加できているか。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
２年次・３年次	福祉	・福祉とは何かその全体像をとらえる ・専門職について理解を深める ・ホームレスの理解	a:福祉に関する知識が身についているか b: 受入側の、指導に従って活動できたか c:講義や体験実習への参加状況	学習プリント	活動日誌	活動の参加状況
２年次・３年次	介護	・介護とは何か ・介護技術の演習 ・介護食などの学習	a: 介護に関する知識が身についているか b: 受入側の、指導に従って活動できたか c:講義や体験実習への参加状況	学習プリント	活動日誌	活動の参加状況
２年次・３年次	障害福祉	・障害者福祉とは ・障害者体験 ・点字 ・ハンセン病の理解	a: 障害福祉に関する知識が身についているか b: 受入側の、指導に従って活動できたか c: 講義や体験実習への参加状況	学習プリント	活動日誌	活動の参加状況

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度